



HP : <http://www.chofu-schools.jp/chofu4/>

互いに認め合い、高め合える集団を目指して

校長 佐藤 政彦

Google のリサーチチームの発表では、チームの効果性に大きな影響を与える力学が 5 つあるとしています。その中で一番重要なのは、「心理的安全性」だと言っています。「チームの心理的安全性」という概念は、ハーバード大学で組織行動学を研究するエイミー・C・エドモンドソン教授が提唱しており、「対人関係においてリスクのある行動をしてもこのチームでは安全であるという、チームメンバーによって共有された考え」と定義し、例として次のような状態が「心理的安全性」をもたらすとしています。

- ・チームの中でミスをしても非難されない。
- ・チームのメンバーは、課題や難しい問題を指摘し合える。
- ・チームに対してリスクのある行動をしても安全である。
- ・チームの他のメンバーに助けを求めることは難しい。
- ・メンバーと仕事をするとき、自分のスキルと才能が尊重され、活かされていると感じる。など



学校においては、的を射ない発言や見当違いの質問をしても、「そんなことも知らないの!」、「何言っているの~??」などと誰からも言われることなく、また失敗してもクラスメイトから責められることもなく、前向きに話し合い、言い合える環境こそが、学級に求められる「心理的安全性」ではないでしょうか。クラスメイトの視線ばかり気にしている時点で、本来持っている力を十分に発揮できず、最低限の役割や発言にとどまってしまうでしょう。

学校は、学級活動や行事などを通して、「心理的安全性」に満たされた、温かい環境づくりを進めなくてはなりません。今月は、「ふれあい月間」(主な目的は、いじめ、自殺、暴力行為等の問題行動、不登校等の早期発見・早期対応、未然防止等につながる具体的な取組を年3回実施する)や「あいさつ運動」が行われています。各学年では、ふれあいアンケートやいじめを題材とした道徳授業を実施するとともに、生徒会役員や学級委員、PTAの皆さんが中心となって、昇降口前での朝のあいさつを行っています。これらの活動も、「心理的安全性」を構築するための大切な取組として位置づけられています。

第四中学校では、誰もが安心して自らの考えや意見を伝え、友達と協働しながら、認め合い、高め合える学校を目指し、日々の教育活動を推進していきます。

5月2日(火)『セーフティ教室』について

新年度がスタートして約1か月のこの頃。中学生になって初めてスマートフォンをもったという1年生もいるかもしれませんが。スマホや携帯という便利なツールとの正しい付き合い方をNTTdocomo、調布警察署の方々を講師にお招きして講話頂きました。これらを正しく使うことは、“誰もが安心して生活できる”人間関係作りにつながります。



6月6日(火)『第59回体育祭』について

「明日はよい一日にしよう！」

あるクラスの実行委員は、教室のみんなに呼び掛けた。みんな思いが溢れていた・・・。

恨めしい先日の大雨が去っても、生徒の思いが消えることはなかった。予備日とされていた平日にも関わらず、生徒たちの頑張る姿を見守ってくださる多くの保護者、地域の方々。冒頭の校長先生の話に「勝利を目指そう」という言葉があった。“さわやかで熱い四中”を体現する生徒たち。勝敗にこだわり、最後まで“熱く”一生懸命にプレーをした。結果がどうであれ、校庭には互いの健闘を称えあうさわやかな風が吹いていた。

万物皆師。一生懸命に取り組む姿は、老若男女問わず人の心を動かす。中学生という“今”しかないその一瞬を全力で取り組んだその姿に学ぶことも多かった。こみ上げる思いをこらえる生徒、そっと涙をぬぐう生徒。そんな自分でいられるのも、“誰もが安心できる”環境だったからではないだろうか。

最後の校長先生の話にあった夕食は“カレー”でしたでしょうか。お疲れさまでした。



『幸せのクローバー☘️見つけ“隊”』

- ・何気ない日常、廊下に落ちているゴミをそっと拾ってくれてありがとう。
- ・体育祭の日、「何か手伝うことがありますか」と声をかけてくれてありがとう。

その一言は、やさしさという Gift です。それだけで十分でした。

- ・体育祭に関わらず、目には見えないところで働いている、作業してくれている友だち、先生、保護者がたくさんいます。

そんなすべての人たちに、ありがとう。

PTAの方々にも本当に感謝です！ありがとうございました。

- ・6月10日(土)は、四中の58回目の誕生日。(開校記念日)

『Happy Birthday♥️四中、おめでとう』

